

グループホーム「櫻」第18回運営推進会議議事録

日時 平成22年12月21日(火) 14:00～15:00
場所 グループホーム「櫻」 2F 食堂
出席者 運営推進会議委員
逗子市福祉部 介護保険課長 館 兼 好
(代理 小川係長)
葉桜自治会 副会長 杉 浦 強 司
社協：地域包括支援センター管理者 渡 邊 誓 子
ご家族代表 原 メイ子
(代理 吉田 様)
(委員5名中1名欠出席)
医療法人社団柏信会 理事長 角 野 禎 子
総看護部長 岩 木 和 子
グループホーム「櫻」 管理者 菅 谷 弘 子
事務長 遠 藤 勝 三

会 議 概 要

1. 開会の辞

定刻、管理者は各委員に暮れの繁忙時期、本日の出席を謝すとともに、民生委員の秋山氏が民生委員交代により本会委員も後任者の高橋様に引継ぎ、本日出席との連絡を受けたが未到着のため到着次第ご紹介することとして開会を宣し、角野理事長に挨拶をお願いする。

(挨拶の要旨)「諸般の事情により本会に思うように出席できなかった事を陳謝すると共に、昨今における認知症の方の増加傾向、厚生労働省がその対策に負われている状況下、地域として医師会も当施設もリラックスした環境の中で生涯が送れるようサポートして行きたいので、今後とも皆様のご支援を宜しく願いたい。」

管理者は、理事長挨拶終了後、議事の進行及び報告等を事務長に指示。事務長は配布資料を確認した後、会議次第に基づき報告説明を行なう。

2. 議題

() 報告事項

運営状況(現況)等について

ア 入居者の現況及び活動状況について(資料)

別紙資料により概要を報告。

前回入所審査中の方が入所（女性・介護度1・85歳）して現在は満室です。また介護度の区分変更で介護度が上がり、平均年齢も併せて上昇した。平成19年2月の本委員会で報告した現況報告から比較すると、当初は要介護度は1～3で、介護度4～5は皆無でしたが、現在は約半数が4～5の方です。したがって、介護サービスの内容も必然的に変化している。

イ 自己評価及び外部評価の実施について（資料）

別紙資料により調査の留意点、実施時期、委託会社等及び介護サービス情報の公表については、別紙書類上のチェックリストにより訪問調査が実施されることを報告。

内容から、小規模事業所としては事務量が多くなり、書類作成にはかなりの労力が必要となる。法制化とは言えその負担増に悩まされているところである。

ウ 事業所指定更新について（資料）

平成23年5月1日の指定更新に向け別紙により提出書類の準備を進めているところです。

事務手続きの流れとしては、平成23年1月下旬までに申請書及び添付書類を逗子市に提出。2月以降、書類審査、現地視察が行なわれ、特に問題がなければ次の5年間の指定を受けることとなります。その時点で「櫻」も開設以来7年目に入ることとなります。

これは偏に関係各位のご協力ご支援の賜と感謝しております。

() その他

報告終了後は懇談会形式で意見交換を行なった。（細部割愛）

懇談の主な話題としては、訪問調査の実施の確認、事業所更新の手続き上の流れ、グループホームの家族会の状況、地域密着型施設の広域化、「櫻」としての地域貢献、空き室状況等の報告の活用状況
入居希望者の問合せ等、広範囲な話題で有意義な懇談となった。

3. 閉会の辞

議案等の終了を見届け予定時刻前ではあったが、管理者は各委員に対し次回の開催を確認（23年3月29日 火曜日）すると共に、本日の出席を謝し閉会を宣した。